

「平成30年度ふくおか地域づくり活動賞」準グランプリ受賞

ふくおか地域づくりフォーラム参加報告

有江 圭子

日 時： 2018年11月23日（金）13:00~17:30
場 所： コムシティ（北九州市八幡区JR黒崎駅隣り）3階会議室
主 催： 地域づくりネットワーク福岡県協議会
参 加： 約70名 守る会（山本、有江）

昨年度に引き続き、今年度も「ふくおか地域づくり活動賞」に応募して、グランプリ（知事賞）候補になり、「ふくおか地域づくりフォーラム」で活動内容のプレゼンテーションをするため黒崎まで行きました。開会式の前にプレゼンテーションの打ち合わせがあり、14時から会が始まりました。

初めに会長と北九州ブロック会長の挨拶のあと、グランプリ候補となった5団体のプレゼンテーションが7分ずつありました。プレゼンテーションが終わって、参加者は各団体1票グランプリを決めるための投票をしました。候補団体は投票できませんでした。

「地域活性化の手法について」というテーマで株式会社かま 代表取締役社長 有田栄公氏より、「20年かけて地域（嘉麻市）の人口を10万人にする」という目標を掲げ、株式会社組織で利益を上げる取組みについての講演を聞きました。「出会い・つながり・よかところ交流会～これからの地域づくり～」ではワールドカフェ方式による意見交換がありました。

最後に活動賞表彰式がありました。投票の結果、グランプリは「楠北自治会区」で、準グランプリは「自然体験クラブホシノネイチャーズウェイ」と「和白干潟を守る会」でした。講評では審査委員長から、和白干潟を守る会については「30年活動を続けてきたことに敬意を表します。博多湾の埋め立てという政令市のプロジェクトを変えられたことは評価します。ラムサール条約に登録されることを祈念いたします」という言葉をいただきました。

去年はプレゼンテーションの時間が短くて、活動内容を十分伝えることが出来ず、残念な思いをしました。今年は皆さんのアドバイスを受け、時間内に話がまとまるように工夫して臨んだ成果が出てほっとしました。守る会には地域活動賞の賞状と副賞の目録が贈呈されました。最後に、受賞者全員と受賞団体ごとの記念写真撮影がありました。

今回のフォーラムへの参加を通して、自分たちの活動をどのようにわかりやすく周囲の人に伝えていくかということは、常に考えておかなければいけないことだと感じました。

福岡県のホームページや広報誌に地域活動賞受賞団体のことが掲載されるそうです。



和白干潟の発表



受賞団体などの記念写真



和白干潟を守る会の記念写真